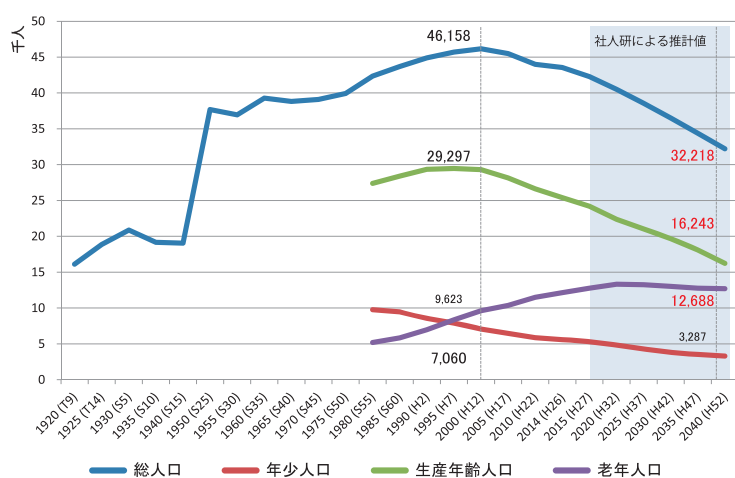


支える人が減って、 支えられる人が増える!?



※小諸市総合計画第5次基本構想より抜粋

人口が減少することがほぼ確実とされているなか、小諸市も例外ではなく、左図のとおり、23年後には現在の人口より約1万人減ると予想されています。

一番問題になることは、生産年齢人口といわれる税金を納めて、市を支えてくれる世代が減ることです。そして逆に高齢者人口が増え、支えられる人が増えることが大きな問題になります。

このことにより、公債費（毎年の借金の返済額）は変わらないが税金の収入が減り、必要な行政サービスが行えなくなる可能性が出てきます。

待ち受ける公共施設等の老朽化

何もしなければ公債費は徐々に減少していくことが考えられますが、何もしないわけにはいきません。市にある公共施設の老朽化が進み、公共施設の更新は喫緊の課題となっています。そして、生活基盤であるインフラ施設は、消耗するごとに改修するため費用がかさみます。いつ起きるか分からない災害にも備えが必要です。

ならば、どうする!?

小諸市の未来を市民の皆様と 明るく元気に。

具体的に何かをするということではなく、今以上に小諸市の現状を知ったり、小諸市の動きに耳を傾けたり、市のイベントに出かけてみたりなど何でも結構です。市では、小諸市の未来のために様々な取り組みを行っていますので、今まで以上に皆様のご協力をいただきますようお願いいたします。

皆様が揃って小諸を想うだけで、それは大きな力になり、小諸を元気にします。

皆様の力で、小諸市の未来、そして小諸市に住む自分たちの未来を明るくしていきませんか。